

未来へバトンをつなぐマガジン——— 神奈川印刷ニュース

KIN

KANAGAWA
INSATSU
NEWS



2025 No.233

秋号

神奈川県印刷工業組合

To the Future — ミナトから輝く未来へ。 —

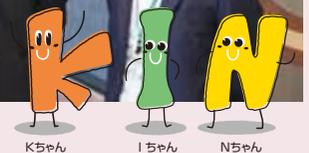


巻頭言 | 関東甲信越静地区印刷協議会
神奈川大会と昭和の風
神奈川県印刷工業組合 副理事長 中矢忠雄

報告 | 関東甲信越静地区印刷協議会
第72回年次大会 in 神奈川 開催！

Topics | 印刷業界の未来へ一歩前進

支部だより | 横浜横須賀支部・番外編



KIN 公式キャラクター

cover photo 第72回 関東甲信越静地区印刷協議会 神奈川大会

Adobe Creative Cloud Edition 4 Adobe Firefly のフルパッケージ、今ここに！ 全印工連でしか購入できない特別プラン。

Adobe CC Edition 4 コンプリートプランの市場想定価格 **163,200円/年** **Edition 4 コンプリートプラン** (9,659円/月) **115,900円/年** **47,300円 OFF!!**

- 20種以上の全アプリと生成AI・Firefly、Adobe Stockがフルにご利用できます。
- Firefly 生成クレジットは毎月4,000クレジット提供！
- Fireflyでの画像生成条件を保存・共有でき、同じスタイルでの制作を容易にする「スタイルキット」
- 音声・動画・3Dの生成にも対応するAI機能(音声に合わせてキャラクターの口の動きを自動生成する「リップシンク機能」付)
- 画像をAIで自然に別の背景やシーンに合成できる「オブジェクトの合成」
- Adobe Stock(制作素材)を無制限に利用できます*
- 知的財産権の補償(Adobe StockおよびFirefly)

お得! **単体プラン** Adobe Creative Cloudの中から必要なアプリケーションを1つずつ選んでご利用できます。

<p>単体版の一般流通価格 55,416円/年 6,416円 OFF!!</p> <p>Edition 4 単体プラン (4,083円/月) 49,000円/年</p>	<p>Acrobat Proの一般流通価格 25,963円/年 4,363円 OFF!!</p> <p>Acrobat Pro 単体プラン (1,800円/月) 21,600円/年</p>
--	--

無料セミナーの拡充 実務者向けフォローアップ無料セミナーをお届けいたします！

マイページの開設 専用の「マイページ」で、見積・発注・契約内容の確認など各種お手続きがWEBサイト上でご利用可能になります！

全日本印刷工業組合連合会 <https://www.aj-pia.or.jp/>
〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8 日本印刷会館4F TEL:03-3552-4571 FAX:03-3552-7727

Foreword

神奈川県印刷工業組合

巻頭言

神奈川県印刷工業組合 副理事長
中矢 忠雄



関東甲信越静地区印刷協議会 神奈川大会と昭和の風

暦の上では残暑ですが、記録づくめの暑さのなか、組合員の皆様におかれましてはご配慮申し上げます。平素より組合活動には深いご理解とご協力をいただき心よりお礼申し上げます。

先きの7月4日(金)にローズホテル横浜において、第72回関東甲信越静地区印刷協議会年次大会が10年振りに地元神奈川県にて開催されました。

会議、分科会、式典、そして懇親会へと参加者の方々よりご好評をいただきました。これも偏に神奈川県工組の皆様の協力と運営スタッフの努力の賜物であり、強く思い出に残る大会となりました。

先日、尊敬する平井琢美顧問が事務局へお見えになり、関東甲信越静地区印刷協議会神奈川大会へのお祝いをお届け下さいました。添えられたお手紙によれば「登り下りの歩行と夜の行動は控えています。祝い金は、役員の皆さんの慰労会に使っていただければと思います。」と記されていました。おひとりです事務局までの45段の階段を上り、お祝いをという気持ちは何よりも有り難く、感謝申し上げますとともに、その気持ちこそ神奈川県印刷工業組合並びに関東甲信越静地区印刷協議会の支えになっていると信じます。

さて、ここからは懇親会のアトラクションで昭和に帰って楽しんだご報告です。

千葉県工組の方々が「神奈川さんは食事が美味しいので楽しみです。」と嬉しいおはなしがあり、その流れで

それぞれ自慢の昭和食堂の話題に花が咲きました。

テーマは「夫婦二人の昭和の料理店」に限られ、私のいち押しレストランの話も聞いてもらいました。

そこは、居心地が良くちょっとしたやりとりのなかで見え隠れる夫婦のやりとりに、チェーン店では味わえないぬくもりのようなものを感じる洋食店のはなしです。

千円前後の定食がメインのいかにも料理一徹という感じで、ドレッシングやソースまで手作りして神経を使うシャイなご主人と、代わって接客するのは奥さん。「店は自分の腕ひとつにかかっている」というご主人の責任感、「夫が料理に集中できるように支えている」という奥さんの自負。そんな夫婦の真剣勝負。強い絆で結ばれているという信頼関係が独特の調味料になっているのかもしれない。何を注文してもすべて味は良しの店内はいつも昭和の風が流れていた思い出のレストランです。

短い時間でしたが、それぞれあの頃の昭和が蘇りました。それも、アトラクション「昭和のメロディ」の企画のお陰です。

第72回関東甲信越静地区印刷協議会神奈川大会の盛会裡の勢いで、この暑い夏を乗り切れそうです。

神奈川県印刷工業組合の皆様、そして関東甲信越静地区の方々へお礼申し上げますと共に皆様のご健勝心よりお祈り申し上げます。

Contents

- 01 | 巻頭言 副理事長 中矢忠雄
- 02 | 関東甲信越静地区印刷協議会 第72回年次大会 in 神奈川 開催！
- 10 | 印刷業界の未来へ一歩前進
- 11 | 支部だより(横浜横須賀・番外編)
- 12 | くみあい日誌/組合員の動き
- 13 | 編集後記

表紙紹介

ミナトから輝く未来へ。
**関東甲信越静地区印刷協議会
神奈川大会**

令和7年7月4日(金)、ローズホテル横浜において開催された神奈川大会の様態。



関東甲信越静地区印刷協議会

第72回年次大会 in 神奈川 開催!



この度実行委員長を務めさせていただきましたが、皆様のご協力により無事に大役を務めることができました。組合員の皆様のご理解とご尽力に心より感謝申し上げます。

関東甲信越静地区は10県の印刷工業組合から構成され、全印工連の中でも最大の地区印刷協議会です。他地区でも開催地は持ち回りで開催されており、4、5年に一度順番が回ってくるころがほとんどですが、当地区では10年に一度ということもあり、各県とも趣向を凝

らした設営で私たちを迎えてくれます。今回他県にも劣らない立派な大会が開催できたのは、神奈川の底力あつてのことと、改めて神奈川県印刷工業組合の伝統と組織力の強さを感じました。また、黒岩県知事、山中横浜市長はじめ錚々たるご来賓の皆様にご臨席いただけたことも、印刷産業が県民の暮らしになくてはならない産業であると、多くの方が認識してくださっていることの表れと実感しました。

今回実行委員会を組織するにあたって、理事であるか否かに拘わらず、若手(印刷組合にしてはということですが笑)を集めました。組合活動に不慣れなメンバーも、それぞれが持てる力を如何なく発揮して、委員全員が心をひとつに団結できたことは、今大会の成功の大きな要因であり、組合にとっての大きな財産にもなったと思います。

関東甲信越静地区印刷協議会
神奈川大会実行委員会 委員長 江森 克治



■ 部会長として参加して

神奈川大会実行委員会
式典部会長 北川 真史



神奈川県印刷工業組合の皆様、こんにちは。

先日は、関東甲信越静地区印刷協議会 神奈川大会に多くの方々にご参加いただき、誠にありがとうございました。おかげさまで、無事に大会を終えることができました。

私は式典部会長の部会長として、懇親会までの段取りを担当させていただきましたが、当日は業務の分担や依頼の不手際もあり、皆さまにはご迷惑をおかけしてしまい、申し訳ありませんでした。

それでも、開催地組合として現地に一人でも多くの方がいってくださったことは、他組合の皆さまにとって一つのおもてなしになったのではないかと感じております。心より御礼申し上げます。

また、江森実行委員長をはじめ、実行委員会メンバーの皆さまには、長期間にわたる打合せや準備、本当にお疲れさまでした。

あらためて、皆さまに深く感謝申し上げます。
ありがとうございました。



神奈川大会実行委員会
懇親会部会長 石澤 勝



このたび無事に関東甲信越静地区印刷協議会神奈川大会を開催することができました。皆様の温かいご支援とご協力に心より感謝申し上げます。

部会長として企画段階から携わる中で、横浜ならではの魅力を生かした交流の場をつくることを目指して準備を進めてまいりました。懇親会では「昭和歌謡リバイバルナイト」というテーマのもと、世代を超えて語り合い、笑い合える時間を共有できたことは何よりの喜びです。この大会が、参加された皆様にとって新たな刺激や出会いのきっかけとなり、業界全体のつながりや未来への力となることを願っております。

理事長から一言

神奈川県印刷工業組合 理事長 古木 直人

主幹県の理事長として臨んだ今回の神奈川大会は、正直なところ大きなプレッシャーがありましたが、実行委員や事務局の皆さま、そしてご参加いただいた多くの方々のご協力のおかげで、100点満点の楽しく充実した大会になったと感じています。心より感謝申し上げます。

地区協は、年に2回の貴重な交流の場であり、全印工連の事業を各県工組へ周知・実行するための大切な機会でもあります。今回は特に官公需対策において大きな成果を上げることができ、組合の意義やそのメリットをしっかりと伝えることができたのではないかと感じました。

式典では黒岩県知事や山中市長をはじめ、多くのご来賓からご祝辞をいただき、厳粛な雰囲気の中で身が引き締まる思いがしました。

2年後のGREEN×EXPO 2027に向けて、我々ローカルゼブラ企業として印刷業が何を担えるのか、引き続き試行錯誤していきたく思います。

懇親会では昭和歌謡をテーマに大いに盛り上がり、私も苦手なカラオケを何とか1曲歌い切り、ようやく肩の力を抜くことができました。





各委員会参加報告

理事長会 報告

古木 直人



神奈川大会当日、理事長会は一足早く午前11時10分より、ローズホテル横浜10階の「ザ・ペランダルーム」にて開催されました。眺望の良い会場には、関東甲信越静の10県の理事長に加え、全印工連からは瀬田会長、常務理事の皆様にもご出席いただきました。

●報告・協議事項

- ・令和6年度収支決算報告
各県の確認を経て報告されました。
- ・令和7年度収支予算案
滞りなく審議・可決されました。
- ・吊事対応・周年行事への対応
各県の判断に委ねる方針とし、それぞれの事情を尊重する形で合意がなされました。

●新たな議題・継続検討事項

- 1.年次大会の9月開催の可能性
開催時期を変更するメリット・デメリットについて

意見交換が行われ、今後も継続的に検討していくこととなりました。

2.青年部分科会の設置について

全国青年印刷協議会 秋野副議長からの提案に基づき、今大会では青年部分科会が設定されました。今後も継続するかどうかは確定しませんでした。若手世代との連携強化の観点から前向きな意見が多く寄せられました。

●その他報告

・組合員加入状況

各県において「特定技能」の資格取得を起点とした加入事例が出始めている旨の報告がありました。

・官公需対策の進捗

大風官公需対策委員長より、今後は使いやすい共通契約書の整備を進め、最低入札価格・地域要件・知的財産権の項目も盛り込まれる予定だと説明がありました。

●総括

会議は依田会長の円滑な進行のもと、活発な意見交換の場となりました。当初予定していた70分を超える内容となり、全体会議後にも延長して議論が続け

られる充実した会となりました。

経営革新マーケティング委員会

上原 健一

今回は、ローカル・ゼブラ企業に関する意見交換・事例報告が中心に行われました。

全日本印刷工業組合（以下全印工連）の経営革新マーケティング委員会委員長の木村宗義様もオブザーブ参加して、全印工連の目指している事や方向性を話して頂きました。

ローカル・ゼブラ企業とは、地域に根ざし、経済的な利益と社会的な価値の創出を両立する企業のことです。中小企業庁は、ビジネスの手法で地域課題の解決に積極的に取り組み、社会的インパクトを創出する企業を「ローカル・ゼブラ企業」と定義し、その創出と育成を支援しています。ローカル・ゼブラ企業は、2017年にアメリカの4人の女性起業家によって提唱された概念で、時価総額を重視するユニコーン企業とは対照的に、社会課題の解決と経済成長の両立を目指す企業を指します。白黒模様を持ち、群れで行動するシマウマに例えられています。中小企業庁は、ローカル・ゼブラ企業を育成し、地域経済における共助の枠組みを構築し、地域内外の事業者との連携を強化することを目指しています。また、ローカル・ゼブラ企業が解決したい地域課題や、事業を通じて社会に創出したい効果を可視化し、測定・評価することで、事業への共感による資金や人材の流れを作り出すことを目指しています。ローカル・ゼブラ企業の特徴



としては、事業を通じて地域課題の解決を図り、収益性を確保・継続すること、新たな価値創造や技術の活用等による革新的なビジネスを構築すること、事業意図を明確化することなどが挙げられます。

印刷会社が地域の為に、印刷を通じてお客様に提供してきた印刷物だけではなく、更に踏み込んで、様々な案件に協力していく姿勢がこれからの印刷会社には必須な事ではないかと再認識致しました。

サステナビリティ・CSR委員会

江森 克治

サステナビリティ・CSR委員会は、従来の環境・労務委員会とCSR推進委員会が合併する形で、令和6年度に全印工連の委員会構成に合わせて新設された委員会です。業務分掌としては、温暖化対策、廃棄物関連、労働安全衛生、雇用・福利厚生関連、GP・環境推進工場認定、CSR認定、MUDの普及等と大変範囲が広く課題も多岐に渡ります。

委員会の目標として、CSR認定、GP・環境推進工場認定、MUD検定の普及・認定促進が挙げられているので、この話題になることが多く、今回も認定促進をどのように実施しているかということが議論の中心になりました。各県ともなかなか普及が進まないという悩みを抱えていますが、その理由としてCSR認定やGP認定を取ることのメリットがうまく説明できないという課題がよく挙げられます。この議論を聞いていていつも感じている違和感について書くことで報告に代えさせていただきたいと思います。

CSR認定やGP認定にメリットを求めている方がイメージしている「メリット」とは、受注が増えるとか入札で有利になるとかそういう類のことと推測できますが、そもそもCSRや環境の取り組みはそういう種類のものではありません。CSRやGPと似ている経営戦略に従業員教育があります。これからは提案型営業が大事だからと営業マンにセミナーを受講させたとして、その営業マンが翌日から提案型営業ができるようになるなどと思っている人はいないと思います。しかし教育をしなけ





ればできるようにはなりませんので、いつかできるようになることを信じてセミナーを受講させるわけです。CSRやGPも同じです。いつか社会の期待にしっかりと応えられる、行政や大企業からも信頼される企業になるために、少しずつコツコツと取り組むのです。良い会社を作りたいとお考えの方は、是非各種認定制度をご活用ください。

組織活性化委員会

太田 幸利

交流拡大委員長の太田です。第72回関東甲信越静地区印刷協議会 神奈川大会にて行われました分科会 組織活性化委員会に参加して参りました。



分科会では初めに、各地区工組の代表より、各組合の現状報告や今後の課題、組合員加入促進にあたっての取り組みなどの報告がなされました。

その後、委員長より「組合加入挙績表彰」「各共済制度の加入状況」「令和7年度共済キャンペーン重点工組」の報告がなされ、依頼事項として「各種数値目標の達成」や2025年10月10日(金)に開催されます「全印工連設立70周年記念式典・祝賀会」の開催への協力、コミュニケーションツールとしての「J-CONNECT」の周知協力、事業承継・事業継続支援事業として推進している「全印工連事業承継支援センター」の活用や周知についてなどの依頼がありました。

また、協議事項として組合員加入促進について意見交換があり、その中で岐阜県印刷工業組合が作成しました「入会の案内書」が事例として提示され、組合入会の大きなメリットが簡潔にまとめられた案内書となっており、入会を検討している企業に対して周知するには大変よいツールであると感じました。その他、各共済制度加入促進キャンペーンの展開、新しい共済制度の検討についても様々な協議が行い、活発な意見交換がなされました。

初めて参加する分科会でしたが、各地区工組の取り組みや考えを、短い時間ではありましたが知る事ができた大変有意義な機会となりました。今回の分科会での様々な報告や意見交換の中で得ました情報や取り組みなど、良いと感じた事などは神奈川県印刷工業組合内でも積極的に共有して、今後の組合員加入の促進や委員会事業でもあります交流事業などに生かせればと考えさせられた分科会となりました。

教育研修委員会

野村 一郎

委員長不在のため、副委員長の矢島さんの進行で会は進められました。

全印工連からは、富澤さんと関野さんのお二人が参加くださったので、令和6年度技能検定プリプレス職種(DTP作業)の実施状況と令和6年度印刷営業講座・印刷営業士認定試験の実施状況を発表していただき、意見が交わされました。



令和6年度のDTP検定1級については、29名受検して合格者が16名。2級では43名受検して21名の合格者ということで、受検者全員が受かるわけで無く、合格率が約半分ということで、かなり真剣に取り組まないと合格出来ないという現実がみられました。

DTP検定については、デザイン要素は入らないということで、知識とルールの理解が必要だと改めて感じました。

そして、今年1月にDTP検定試験の見学会を実施しましたので、参加した委員から感想をいただきました。

多かった感想は、受検生によって作業手順が各々違い、ソフトウェアの機能を上手く使うと時短になったり、また上手く使いこなせないと作業が止まってしまい、時間のロスが出てしまうという事がよく分かったというものでした。

印刷営業講座については、令和7年度の印刷営業講座は東京で5日間あり、今回からAIの授業も加わるそうです。

印刷営業士認定試験については、「印刷営業士認定」というネーミングが良くないと地方工組で話題になったことを受けて、委員で正にその通りとネーミングについて話が盛り上がりしました。今後、ビジネス用語のような横文字で今時の名前になることを望みます。皆さまで何か良いネーミングが思いつきましたらご報告してください。

官公需対策委員会分科会

中矢 忠雄

関東甲信越静地区印刷協議会 第72回年次大会が10年振りに地元開催となり、7分科会のうち官公需対策委員会を担当しました。



令和6年度から全印工連より組合支援セミナーのリニューアルを行った結果、官公需対策委員会は総務省からの入札・契約制度や全印工連が実施している調査データをもとにした官公需の重要性を説明するセミナーや、知的財産権では、官公需契約における著作権の取り扱いについての解説を行うセミナーが開催され、順次各県工組に広まってい



ます。

内容につきましては、各県工組が連携し、自治体への働きかけをより強化し、最低制限価格制度並びに低入札価格調査等を早期に全国導入へと繋げていくこと。

知的財産や印刷データの財産的価値に配慮したコンテンツ版パイ・ドール契約等、権利の売り上げ適正価の実現、即ち発注者と受注者の間で対等な契約がなされているかを再確認すること。

随意契約における地元事業者受注や安値発注の問題。入札参加資格として地元地域要件を導入すること。

そして、官公需対策委員会にとって重要なのがその活動に関するアンケート調査です。

この調査結果が基本となり、共有できる素材であり活動を進めていく上での大切な参考データとなることを改めて再確認しました。

約70分の分科会において、もっとも多く語られた言葉は「適切な価格転嫁」でした。これこそ官公需対策委員会の永遠のテーマではないでしょうか。

以上 第72回関東甲信越静地区印刷協議会年次大会 in 神奈川の官公需対策委員会分科会の報告とさせていただきます。

青年部

江森 悠人

先の協議会より分科会に青年部会が新設されたことに伴い、全青協議員として関東甲信越静地区協議会に参加しました。



協議会への参加は初めてでしたが、親会ひいては全印工連として、印刷業界の課題や取り組みの状況を知ることができ、良い勉強になりました。全青協では各人がどのようにして生き抜いていくかがテーマの中心にあるイメージですが、より俯瞰的に、業界としてどう向かっていくかという視点は、翻って自分がどのように仕事に向き合っていくかにも生きてきそうです。

分科会の議題は、全青協の今後の運営についてが

主でした。まずは副議長の選任方法について。若い世代が減少しているということもあり、当代の副議長が次の副議長を指名するこれまでの方法だと決めづらいということで、各県持ち回り制にして負担を平等にしつつ決定もスムーズに行える仕組みを取っていく方針としました。

また副議長が決まりづらい要因から派生して、そもそも親会からの支援が少ない場合がある点についても議論が行われました。各県によっても状況は異なりますが、親会の財務状況等の問題で支援の少ない県では、交通費等の自己負担が発生する場合があります、積極的な参加を躊躇う一因となっているというもので

す。ただでさえ若い世代の減少は印刷業界としては大きな課題の一つですから、貴重な担い手に少しでも積極的に参加してもらえよう、自腹を切らないと全青協としての活動ができないということは起こらないような支援の制度設計を提言していくことでままりました。

その他、直近の新しい取り組みについての情報交換も行い、印刷に捉われないビジネスに取り組みされている事例の共有もしていただきました。

事務局会議

英 宜子・野口 あす香

山梨県の進行により各県の事務局員11名にて、フリートーク形式にて終始なごやかに歓談。

全印工連を含む情報の共有や出張時などの予算組み、日々の業務について話し合い有意義な時間を過ごせました。



神奈川県知事 黒岩祐治氏



横浜市長 山中竹春氏



神奈川県中小企業団体中央会
副会長兼専務理事 長谷川幹男氏



衆議院議員 田中和徳氏



神奈川県議会議員
加藤元弥氏



古木理事長



中矢副理事長

懇親会開催



全日本印刷工業組合連合会

創立70周年記念行事開催

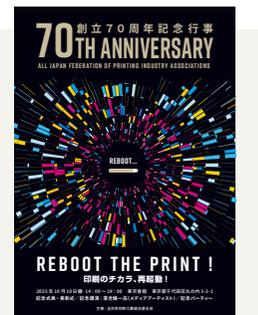
～REBOOT THE PRINT! 印刷のチカラ、再起動!～

2025年
10/10
金曜日

会場 東京會館 東京都千代田区丸の内3-2-1 TEL:03-3215-2111

記念講演 落合陽一氏 (メディアアーティスト)

全印工連は1955年(昭和30年)6月に日本印刷工業調整組合連合会を創立して以来、本年で70周年を迎えました。



印刷業界の未来へ一歩前進



行政との対話が確かな成果へとつながる

6月24日(火)横浜市議会会議室において自民党横浜市連主催の「業界団体ヒアリング」に参加しました。8年前から参加している毎年の恒例行事ですが、今年も多くの自民党議員の皆様のお出席のもと、13:40から約40分間にわたり業界の現状の説明と、横浜市において実現してほしい事項を業界団体として要望してきました。組合からは、古木理事長、中矢副理事長、上原副理事長、森下横浜中央支部長、高橋横浜横須賀支部長、茂手木横浜北支部長と私の計7名で参加しました。

【要望事項】

- ①入札における予定価格算定にあたっての市場動向を踏まえた実勢価格反映と、適正な予算確保のお願い
- ②少額随意契約上限額改定のお願い
- ③入札における最低制限価格制度の導入のお願い
- ④横浜市公共調達における知的財産権の不当な取り扱いの是正

要望事項は上記の4項目でほぼ例年通りの項目です。裏を返せばこの8年間、ほとんど要望を聞き入れていただけない状況が続いていたということになります

が、今年は少し様子が異なります。

まず、②の少額随意契約の上限額改定については、契約第2課より今年の秋頃を目途に現状の20万円から30万円に引き上げられる旨、すでに通達がありました。近年では初の要望実現といってよく、これまでの活動が実を結んだ結果となりました。

①と③は共に入札関連ですが、近年国策となっている「価格転嫁」を官公需においても促進しようという「官公需価格転嫁パッケージ」の一環として、今年に入ってから政府で力を入れ始めている政策です。全印工連会員を中心に組織する「全日本印刷産業政治連盟(全印政連)」と、自民党の「中小印刷産業振興議員連盟」がタッグを組んでこの政策を推し進めた結果、政府の中心的な経済政策としてクローズアップされるようになりました。全印政連の大きな成果と言えます。

また、④は以前より「著作権は(受注者帰属)の原則」と、「コンテンツ・バイ・ドール契約の奨励」が国から自治体に通達されていましたが、市町村においては未だ9割以上が未対応の状況です。

この度官公需価格転嫁パッケージの施行を受けて、上記要望事項のうち①・③・④については、経済産業省と総務省から各自治体に向けて6月に発出された「官公需印刷物の入札・契約について(通知)」という文書において、「技術的助言」という強い形で対応が要請されましたので、今後の改善に期待したいと思います。

全国中央会の指導もあり、印刷工業組合は直接的な政治活動はできませんが、任意団体としての「全印政連」が先頭に立ち粘り強く政治・行政に働きかけてきた結果が、今日のような成果を生んでいます。全印政連は組合とは別の独立した団体ですので、会員の会費を財源として運営しています。わずかな金額で日本の印刷産業発展に貢献できますので、是非皆様も入会をご検討いただきたくお願い申し上げます。

神奈川県印刷工業組合
政治懇話会担当 江森 克治

全印政連って? 加入方法は?

全日本印刷産業政治連盟(全印政連)は、中小印刷業界の発展を目的に平成11年に発足。政策課題の国政反映を目指し、政治家や関係団体への要望活動、勉強会・講演会を実施。自民党中小印刷産業振興議員連盟と連携し、業界課題の解決に取り組んでいます。

■ 加入・協力方法、会費などについて

会費ではなく、広報誌「全印政連」を購読することで全印政連の会員になれます。政治資金規制法により、単に会費を集めることは寄附行為にあたるため、広報紙の購読という形をとっています。入会ご希望の方は事務局までお問い合わせください。



活動をお知らせ

支部だより

横浜横須賀

Yokohama Yokosuka

横浜横須賀支部親睦ゴルフコンペ

■ 日時: 2025年8月11日(月・祝) ■ 参加人数: 12名
■ 場所: 南市原ゴルフクラブ

8月11日(月・祝) 南市原ゴルフクラブにて3組12名の参加で開催しました。

当初、箱根での開催予定でしたが開催日の大雨予報(箱根地域は当日、大雨警報発令)により参加者の安全重視の為、中止とする方向で調整の中、幹事独断で前日急遽開催地変更をしましたが、皆様のご理解、ご協力を頂き、全員参加で開催することができました。結果的には雨の影響もほぼ受けず、今夏の猛暑を避けて快適にゴルフを楽しむことができ、組合員の皆様をはじめ賛助会員の皆様とゲスト参加の皆様と親交を深めることができました。

お忙しいところご参加いただきました皆様、ありがとうございました。また、コンペ開催にあたりコンペ賞品を協賛していただきました、株式会社桔梗屋紙商事様、感謝申し上げます。次回開催の際には、今回参加出来なかった組合員の方のご参加をお待ちしています。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

横浜横須賀支部 支部長 高橋 里司



1位・2位・3位の結果発表です。

優勝	徳茂 信吾	株式会社神奈川機関誌印刷所
準優勝	宇留島麻知子	ゲスト参加
3位	栗原 真	株式会社桔梗屋紙商事

番外編

総務組織委員会・広報委員会 合同懇親会

■ 日時: 7月17日(木)18時~19時30分 ■ 参加人数: 8名
■ 場所: 割烹蒲焼わかな



横浜市営地下鉄・JR京浜東北線「関内駅」から徒歩1分に位置する老舗「割烹蒲焼わかな」にて、事務局会議終了後、総務組織委員会との合同懇親会を開催いたしました。

鰻丼は、ふっくらとした鰻の旨味と香ばしさが際立ち、豊かな味わいに心身ともに満たされました。会席では活発な意見交換がなされ、和やかな雰囲気の中で交流を一層深めることができました。本懇親会で培った英気を礎に、今後の委員会活動にも一層尽力してまいります。

広報委員 高橋さやか

くみあい日誌

7月 3日 広報委員会	組合事務所
7月 4日 (関)第72回 関東甲信越静地区印刷協議会 年次大会 神奈川主管	ローズホテル横浜
7月10日 三役会	組合事務所
7月11日 (全)常任役員会	日本印刷会館
7月17日 広報委員会	組合事務所
7月17日 総務組織委員会	組合事務所
7月24日 理事会	組合事務所
7月25日 (一社)日本グラフィックサービス工業会 神奈川県支部総会・懇親会	ロイヤルホールヨコハマ
7月28日 (全)第1回教育研修・事後報告会	W
7月29日 (全)第1回官公需対策・事後報告会	W
7月30日 (水)横浜中央支部役員会	ガナパティ
8月 4日 横浜商工会議所主催 GREEN EXPO2027開催支援各種団体連絡会	ホテルニューグランド
8月 5日 交流拡大委員会	組合事務所

● 経営革新マーケティング委員会 ● 交流拡大委員会 ● 総務組織委員会 ● 広報委員会

(全) 全日本印刷工業組合連合会 (全印工連)
(関) 関東甲信越静地区印刷協議会 (関地区協)
W WEB会議 (中) 神奈川県中小企業団体中央会 (中央会)

8月 5日 関東甲信越静地区印刷協議会神奈川大会 実行委員会 決算案検討・懇親会	ダンボピザファクトリー
8月 8日 (中)夏季役員懇話会	ハイアットリージェンシー
8月11日 横浜横須賀支部親睦ゴルフコンペ	南市原ゴルフクラブ
8月19日 (全)第2回サステナビリティ・ CSR事前報告会	W
8月21日 支部長会(常務理事会)	銀座アスター藤沢賓館
8月27日 湘北支部会・三役訪問	彩は
9月11日 三役会	組合事務所
9月11日 経営革新マーケティング委員会	組合事務所
9月11日 日印産連 2025年9月印刷の月講演会・ 記念式典・懇親会	ホテルニューオータニ「鶴の間」
9月25日 理事会	組合事務所
9月30日 「神奈川印刷ニュースNo.233」秋号発行	

／ 組 / 合 / 員 / の / 動 / き /

加 入

■ 横浜横須賀支部 (株)横浜リテラ

脱 退

■ 横浜中央支部 (有)一進社
■ 湘北支部 (株)コスモプリント
■ 湘南小田原支部 (有)うさぎや印刷

訃 報

■ 湘南小田原支部
井上満様 令和7年7月29日 逝去
三井印刷紙器工業(株) 社長御尊父

令和7年8月4日現在 142社

「観て」「学んで」お得がいっぱい 観れば納得! 全印工連の印カレ

印刷会社や印刷業界で今必要な内容をクローズアップし動画配信している教育動画サイト「印カレ(全印工連の学んで得するTV)」。

DTPデザインから営業、Techイノベーション、マーケティング、経営まで幅広い知識を配信しています。

「生成AIの現状」や「MUDセミナー」、「印刷会社のWeb戦略(完結編)」など新着動画もいっぱい。きっとためになる動画と巡り逢えるはずです!



興味を持たれた方は
今すぐGO! →



※動画視聴にはログインが必要です。

○メールアドレス…各組合員様の登録されたメールアドレス ○パスワード…上記登録アドレスに送られてくるメルマガに記載されています。

編集後記

7月4日、「関東甲信越静地区印刷協議会」が開催されました。神奈川県での開催は約10年ぶりとのことで、このような大きな行事が県内で行われたことを嬉しく思います。準備や運営にあたられた皆さま、本当にお疲れさまでした。今回の大会を通じて、業界の発展だけでなく、さまざまなつながりが生まれていけば幸いです。

私は広報委員会の打ち合わせ終了後、総務組織委員会との合同懇親会に参加させていただきました。誌面

(P11)でも少しご紹介していますが、和やかな雰囲気の中でいろいろなお話を伺うことができ、とても楽しい時間を過ごしました。こうした交流を通して、組合のつながりがさらに深まっていくのを感じました。

気づけば2025年も残り3か月となりました。年末に向けて、皆様で一丸となり、組合を盛り上げていきましょう!

広報委員 高橋

4コマ漫画

読んでね~

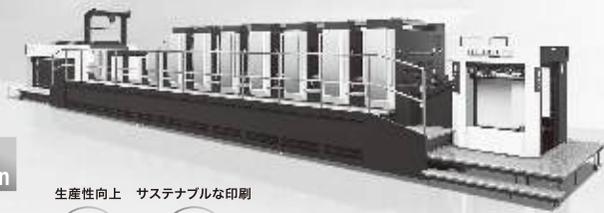


ガンバる!! キンちゃん

KINちゃんたちの日々の奮闘(!?)を4コマ漫画でご紹介。お時間のある時に覗いてみてね!

▶ 右の二次元コードを読み取ってお読みください





LITHRONE GX/G
advance EX Edition

生産性向上 サステナブルな印刷

リスロンGX/Gアドバンス EXエディション
生産性とサステナビリティの新基準

Photo: GLX-740A
※写真のモデルはオプション仕様を含んでいます。

KOMORI 株式会社 小森コーポレーション 〒130-8666 東京都墨田区吾妻橋3-11-1 Tel. 03-5608-7806(代表)



MOTOYA

豊富なラインナップのモトヤ書体が使用可能！
これからリリースされる新書体も
年会費だけですべて使用可能です。

LET'S LEADING EDGE TYPE SOLUTION

お問合せは 045-322-3371 へ

モトヤイメージキャラ 琴音 愛

株式会社 **モトヤ 横浜支社** 〒221-0841 横浜市神奈川区松本町 3-21-15
<http://www.motoya.co.jp>

RMGT リョービMHIグラフィックテクノロジー株式会社

RMGT-CSPI

ともに創る印刷の未来

RMGT Consortium Sustainable Printing Industry



RMGT-CSPIの詳細については、こちらをご覧ください。
<https://www.ryobi-group.co.jp/graphic/cspi/>



横浜みなとみらいグループ
横浜みなとみらい税理士法人

経営サポートのワンストップトータルサービスを目指して
私達がサポートします。

【税務会計・決算申告】 【事業承継・M&A】 【相続・相続税対策】

〒235-0005 横浜市磯子区東町15-32 モンビル横浜根岸301
TEL : 045-751-2734 HP : <https://www.asagi-tax.com/>



代表社員 浅木克眞